

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

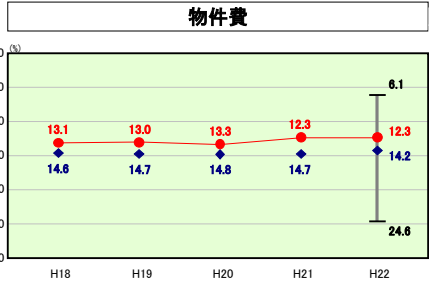
神奈川県湯河原町

経常収支比率の分析

人口	27,185 人 (H23.3.31現在)	実収支	赤字	比率	- %
面積	40.99 km ²	実収支	赤字	比率	- %
総額	8,592,014 千円	実収支	赤字	比率	9.1 %
総額	8,398,298 千円	実収支	赤字	比率	91.1 %
収入	157,942 千円	市町村	類型	H18	V-2
支出	5,682,281 千円	市町村	類型	H19	V-2
財政規模	7,084,377 千円	市町村	類型	H20	V-2
現在高		市町村	類型	H21	V-2
		市町村	類型	H22	V-2

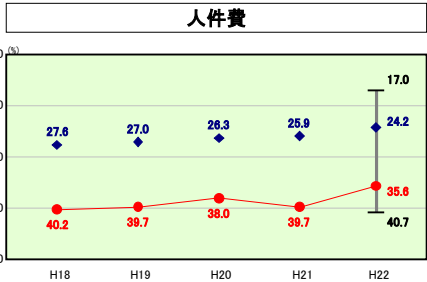


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



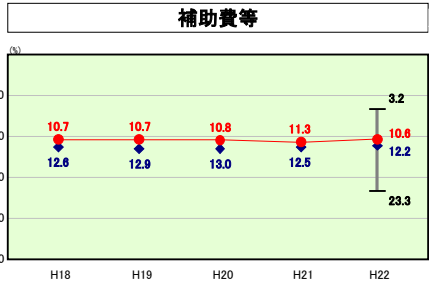
類似団体内順位 49/139 全国平均 12.8 神奈川県平均 14.7

物件費の分析欄
 いかなる平均値をも下回る結果であるが、当町は観光立町であるため、誘客事業に係る委託料などによる商工費や、真鶴町及び熱海市泉地区の消防救急業務受託による消防費については、類似団体に比べ高めである。



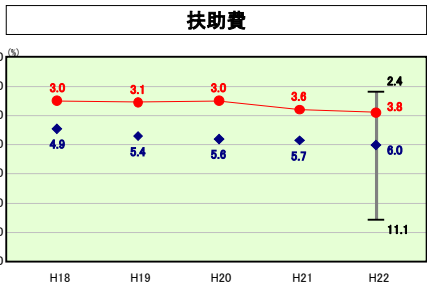
類似団体内順位 136/139 全国平均 25.1 神奈川県平均 26.0

人件費の分析欄
 本町は真鶴町及び熱海市泉地区を管轄する消防職員や観光温泉地として観光事業を行う商工関係などの職員、衛生関係の職員数が類似団体と比較して多いことなどを原因として、類似団体平均を上回っている。今後は指定管理者制度を含めた民間委託の推進や職員の適正化計画により人件費の抑制に努める。



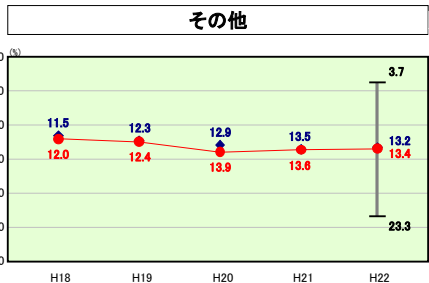
類似団体内順位 40/139 全国平均 10.1 神奈川県平均 11.3

補助費等の分析欄
 類似団体平均を下回っているが、今後も補助金については、交付に対する事業が適切かどうか判断し適正な運用に努める。



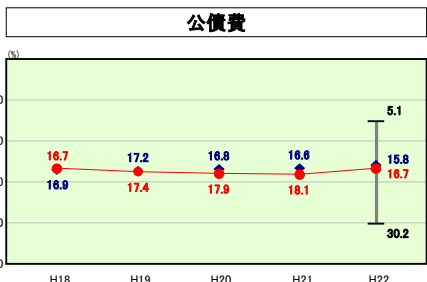
類似団体内順位 18/139 全国平均 10.4 神奈川県平均 14.1

扶助費の分析欄
 本町の値は、あらゆる平均値を下回っている。高齢者や児童に係る単独事業が類似団体に比べて少ないことが要因であると考えられる。



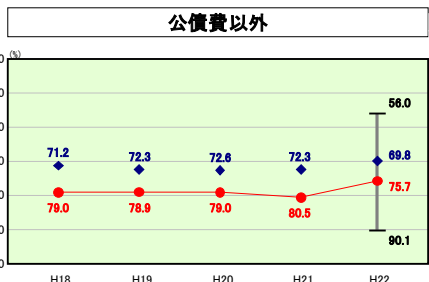
類似団体内順位 80/139 全国平均 11.8 神奈川県平均 10.1

その他の分析欄
 類似団体平均を上回っているのは、繰出金に係る経常収支比率によるものである。下水道事業に係る繰出金は公債費の減により減額しているものの、国民健康保険事業、介護保険事業に係る繰出金は、高齢化率の高い本町は増加傾向である。



類似団体内順位 87/139 全国平均 19.0 神奈川県平均 18.2

公債費の分析欄
 公債費については増高傾向であったが、地方債の発行抑制により、平成21年度にピークを迎え、本年度は減少している。近年の財政状況を鑑み、今後も地方債の発行抑制に取り組んでいくよう努める。



類似団体内順位 115/139 全国平均 70.2 神奈川県平均 78.2

公債費以外の分析欄
 公債費以外の経常収支比率が、類似団体平均を上回っている主な要因は、人件費によるものである。